

令和5年3月15日

上越市長 中川 幹太 様

柿崎区地域協議会
会長 吉井 一寛

柿崎区内の保育園の今後のあり方に関する意見書

上越市地域自治区の設置に関する条例第7条第1項の規定に基づき、「柿崎区内の保育園の今後のあり方」について自主的に審議した結果、下記のとおり意見を取りまとめましたので提出します。

記

柿崎区には現在、柿崎第一保育園、柿崎第二保育園、上下浜保育園、下黒川保育園の4保育園が配置されていますが、4保育園とも建設から37年以上が経過し施設の老朽化が進み、園児数も年々減少し定員割れをしています。出生数も激減し、平成17年度には87人の子どもが生まれていましたが、今年度は30人を切ると見込まれます。さらに、核家族化や共働きによる家庭環境の変化、勤務体系の複雑化等により保育のニーズも多様化してきていますが、区内には0歳児の受け入れができない保育園や開園時間が異なる保育園があり、サービスに差が生じています。

このような保育環境の現状を踏まえ、柿崎区地域協議会は平成26年度から自主的審議事項として「区内の保育園の将来的なあり方」の検討を始め、これまで8年間、子どもたちにとって望ましい保育環境の整備と保育サービスの充実を一番に考え、継続して審議を行ってきました。

昨年6月に区内保育園や、近年統合し新築したなおえつ保育園を視察し、区内保育園の現状と課題を把握しました。さらに、11月には保護者会役員との懇談会や保護者会役員を対象に「保育園のあり方に関するアンケート調査」を実施し、実際に保育園を利用している保護者の考え、意見の聴取に努めました。

アンケート調査では、区内保育園のあり方について、6割近くの役員が「区内4保育園を統合し新築」と回答され、意見交換においても施設の老朽化や園児数の減少、サービスの現状等を踏まえ、区内4保育園の統合に一定のご理解をいただいたものと考えています。

つきましては、子どもがより良い保育環境で成長できるよう、次の項目の早期実現を強く望みます。

1 柿崎区内の保育園の今後のあり方

- ・ 柿崎区内の4保育園を統合し、新たに保育園を建設すること。
- ・ 保育園の新築場所については、保護者の通勤等を考慮すること。
また、豪雨による浸水や豪雪時の交通障害等の自然災害に十分考慮すること。
- ・ 保育園統合に伴い通園距離が長くなる園児が増えることから、通園バスの運行時間や便数の増便など、園児の送迎に十分配慮すること。

2 保育サービスの充実

- ・ 保育時間を拡大すること。
- ・ 病児・病後児保育を実施すること。
- ・ 通園バスの利便性を向上させること。
- ・ 保育士の配置を充実させること。

令和5年3月15日

柿崎区地域協議会からの意見書提出の経過について
(柿崎区内の保育園の今後のあり方に関する意見について)

担当事務局 柿崎区総合事務所

- 関係課 保育課
- 審議開始日 令和4年2月15日
- 意見書決定日 令和5年3月14日

○自主的審議の概要（審議開始時のもの）

柿崎区内の4保育園は、建設から37年以上が経過し老朽化が進み、園児数は年々減少し4保育園とも定員割れを起こしている。令和2年度の出生数は35人で、今後もさらに減少し、近い将来30人を割ると見込まれることから、子どもたちの保育環境を整えるため、区内の保育園の将来的なあり方について審議を開始した。

○経過

1 地域の現状や課題を把握するため各種団体との懇談会を開催

- 区内の各種団体が地域の現状や課題を報告し意見交換を行い、その結果を踏まえて自主的審議事項のテーマを決定することを目的に団体との懇談会を開催した。保育園のあり方をはじめ、県立柿崎病院と県立久比岐高校の存続、柿崎免許センターの跡地利用、空き家対策、バス路線の廃止など、さまざまな地域の課題を話し合った。

①開催日時：令和2年9月15日

②会場：柿崎地区公民館

③参加団体：NPO法人柿崎まちづくり振興会、柿崎区町内会長連絡協議会、柿崎観光協会、柿崎商工会

2 令和2年度第7回地域協議会において保育園のあり方を自主的審議事項に決定

- 区内の保育園のあり方については、平成26年度から継続審議となっている課題である。
- 平成2年10月20日開催の令和2年度第7回柿崎区地域協議会において、前期に引き続き「柿崎区内の将来的な保育園のあり方について」を自主的審議事項に決定し、令和4年2月に委員会「みんなの保育園を考える会」を立ち上げた。
- 令和4年2月から令和5年1月まで、13回の委員会開催のほか、保育園の視察、保護者会役員との懇談会の開催、アンケート調査の実施等、今後の保育園のあり方を検討してきた。

3 区内4保育園及びなおえつ保育園を視察し施設の現状を把握

- 区内の保育園の将来的なあり方の検討の参考とするため、保育園の視察を行った。

①実施日：令和4年6月4日

②視察先：柿崎第一保育園、柿崎第二保育園、上下浜保育園、下黒川保育園
なおえつ保育園

③区内保育園の施設の状況

- 4保育園とも外壁や床等の傷みが激しい。
- トイレは、和式から洋式への取り換えが進められているが、まだ和式トイレがある。
- 上下浜保育園は沐浴室がなく、0歳児の受け入れができない。
- 児童数が減少し、4保育園とも空き部屋が多数あり、保育室以外に使用されている。

④園児数の推移

- ・園児数は、この10年間で67人減少（▲26.5%）。柿崎第一保育園以外は減少率が20%以上で、下黒川保育園は39.1%、上下浜保育園が57.8%と大幅に減っている。
- ・出生数も激減し、平成17年度の87人から今年度は28人まで減少する見込み。

⑤保育サービスの課題

- ・開園時間が短く、保育園によって開園時間に差がある。
- ・日曜日、祝日が開園していないので、子どもを預けられない。
- ・0歳児を受け入れられない保育園がある。
- ・一時預かりや子育て広場がない保育園がある。

4 保護者の考え、意見を把握するために保護者会役員との懇談会を開催

- ・保護者会役員に保育園の施設の現状や保育サービスの状況、園児数の推移、地域協議会のこれまでの取組を説明し、今後の保育園のあり方について意見交換を行い、保護者の考えや意見の把握に務めた。

①開催日時：令和4年11月19日

②会 場：柿崎コミュニティプラザ 4階 多目的ルームほか

③内 容：保育園の現状等の説明、意見交換、アンケート調査を実施

④参加者：保護者会役員等19人

⑤意 見：参加者は保育園の施設等の現状を理解し、子どもたちにとって保育環境の整備と保育サービスの充実が一番大切なことから、意見交換では課題解決のため4保育園の統合が必要との意見が多かった。

5 アンケート調査では6割近くの保護者会役員が「4保育園を統合し新築」と回答

- ・保護者の意見を基に柿崎区の保育園のあり方をまとめるため、保護者会役員及び懇談会の代理出席者を対象に「保育園のあり方に関するアンケート調査」を実施した。

①対象者数：34人（32人が回答 回答率94.1%）

②実施日：令和4年11月19日（懇談会のなかで実施。欠席者は保育園を通じて実施）

③結 果

- ・区内4保育園のあり方について

現状のまま 12.5% 4保育園を統合し新築 56.2% その他 31.3%

- ・最も必要なサービス

保育時間の拡大（早朝・延長） 9人 病児・病後児保育の実施 6人

土曜日の開園時間の延長 4人 保育士の配置の充実 4人

6 地域協議会のこれまでの取組、保育園の今後のあり方の協議結果を市民に周知

- ・令和5年2月19日、柿崎コミュニティプラザでまちづくりフォーラムを開催し、経過や意見書提出に向けた取組を報告した。
- ・保護者会役員との意見交換やアンケート調査結果等を踏まえ協議した結果、「4保育園を統合し新築」の内容で意見書を提出する旨の文書を、2月に全町内会長へ配布し理解を求めた。
- ・柿崎区地域協議会だよりに掲載（令和4年6月25日、9月25日、12月25日、令和5年3月25日）

7 第13回地域協議会（3月14日開催）において意見書提出を全会一致で承認

- ・子どもたちがより良い保育環境で成長できるよう、「4保育園を統合し新築」の内容の意見書提出を全会一致で承認した。

○備 考

- ・意見書の内容については、素案段階で保育課と情報共有済み。
- ・意見書回答は保育課が作成する。